

探究的な視点をもった授業実践

実際に授業に取り入れている探究的な視点にはどのようなものがあるか	
探究的な視点（複数回答可）	
「なぜ」「どのように」といった「開かれた問いOpenQuestion」で生徒に発問して答えさせている	83.9%
複数の知識を活用する状況を授業の中につくっている	61.3%
知識や情報を板書やスライドなどでわかりやすく可視化し、構造化して示している	54.8%
生徒自身が「なぜだろうか」「どうしてだろうか」と自問自答を続ける経験をさせている	53.2%
生徒と生徒の間で問いかけが起こり、考えを深め合う場面がある	48.4%
生徒が自発的に問題解決したくなる学習課題を設定したことがある	35.5%
生徒の意見に対して共感的に傾聴している	75.8%
生徒からの発言が連鎖しやすいように、生徒にポジティブな声かけを行っている	58.1%
授業中の学習課題に対して、生徒自らが情報を収集する場面をつくっている	41.9%
生徒が収集した情報を整理したり、分析したりする活動を取り入れている	32.3%
生徒が学習内容をまとめ、それを表現する場面がある	43.5%
生徒が獲得した知識を実際の生活場面等での問題解決に活用させている	21.0%
授業中の課題を、現実的で意図をもったものにしていく	30.6%
生徒に「人・もの・こと」と関わらせることで、生徒にとって新たな発見をさせている	27.4%
生徒が関連性や傾向を見いだすような過程を用意している	38.7%
根拠にもとづいて、生徒に結果を予想させている	45.2%
見通しをもった調査・検証をさせている	22.6%
生徒に仮説を立てさせ、それを述べたり、書いたりさせている	32.3%
調査・観察・実験の結果を考察させたり、分析させたり、解釈させたり、意味づけさせたり、活用させたりしている	19.4%
物事を数量的にとらえさせている	27.4%
丁寧に学習の振り返りをさせている	40.3%
生徒が自らの考えを更新する場面をつくっている	33.9%
上記以外の、探究的で深い学びに結びつく過程を授業に入れている	11.3%
上記のような、探究的な視点を授業に取り入れたことが一度もない。	0.0%